

種類別明細書（増加資産・全資産用）の記入例

記入上の注意

- 前年度申告された方で、増加した資産がある場合は、その資産について記入してください。
- 本年度初めて申告される方は、1月1日現在所有する全資産について記入してください。
- 資産の一部が減少した場合や資産内容に誤りがある場合は、「種類別明細書（減少資産用）」に全ての資産内容を記入の上、残りの資産や正しい資産内容についてこの用紙に記入してください。

○資産の種類
手引書の「償却資産の種類」を参照し、次の1~6の数字を記入してください。

- 1…構築物
- 2…機械及び装置
- 3…船舶
- 4…航空機
- 5…車両及び運搬具
- 6…工具、器具及び備品

令和〇〇年度		種類別明細書（増加資産・全資産用）										所有者名					
所有者コード		この用紙は、そのまま電算処理用データとして使用しますので正確に記入してください。										枚目					
123456789												(株) 海老名〇〇商事					
行番号	資産の種類	資産の名称等 ※カタカナ・アルファベット・数字で記入	数量	取得年月		取得価額		耐用年数	改正耐用年数	耐用年数	減価残存率	価格	課税標準の特例		課税標準額	増加事由	摘要
				年号	年月	十	百						千	円			
01	1	テンボナイソウコウジ	1	05	05	1	350	350	10								
02	2	コムギコセイゾウセツビ	1	11	03	4	480	000	13	20	10						
03	6	エアコン	2	13	10	2	440	000	06								
04	6	レジスター (AB-23ガタ)	1	07	05	3	313	400	05								
20		小計				2	583	400									

○増加事由
該当する番号に○印をつけてください。

- 1…新品取得
- 2…中古取得
- 3…移動による受入
- 4…その他

○改正耐用年数
耐用年数が改正された場合は、改正された年と、改正前の耐用年数を記入してください。

○耐用年数
減価償却資産の耐用年数等に関する省令別表第1から別表第6まで（別表第3及び第4を除く。）に掲げる耐用年数を記入してください。
なお、中古資産について、見積耐用年数によっては、その耐用年数を、国税局長の承認を得て短縮耐用年数によっては、その耐用年数を記入してください。

○資産の名称
資産の名称及び規格等をカタカナ、アルファベット、数字を使用し、記入してください。
(漢字及びひらがなは使用できません。)

○取得年月
実際に取得した年月を記入してください。
年月が1ケタの場合は、その前に0を付してください。

○取得価額
資産を取得するために通常支出すべき金額（引取運賃、運送保険料、購入手数料等、その他事業に使用するために直接要した費用を含む）を記入してください。

○取得価額の合計額
償却資産申告書の取得価額欄（前年中に取得したもの（ハ）へ転記してください。

第二十六号様式別表一（提出用）

☆書き方は別紙「記入例」をご覧ください